

社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)レビューシート

団体名: 特定非営利活動法人京都歴史地理同考会

訪問調査日: 2011年10月5日(水)

評価大項目(分類)	評価中項目	絶対評価コメント	達成率
I. 組織ミッション(社会的使命)と事業の推進	[1]組織ミッション(社会的使命)の確立	組織ミッションは定款をはじめ、ホームページブログ、公益活動ポータルサイト「きょうえん」から確認できる。非営利・公益事業の推進が、事業成果・報告、財務諸表等から確認できる。	16/24 達成率 67%
	[2]組織ミッションと事業の策定	中期的ヴィジョンは計画書としては策定されていないが、NHK「大河ドラマ」のテーマに準じて、名所・史跡に関する石碑・案内板を建立する計画としている。また、単年度においては、石碑・案内板の建立を概ね1~2件程度に限定して計画を実施している。	
II. 組織と経営管理	[1]意志決定機関とガバナンス	概ね月に1回ペースで理事会が行われており、事業および課題の共有が図られている状況を聞き取ることができた。理事長を中心にガバナンスが図られているが、各理事の役割等について一定の課題認識がある。事業の性質上、借地借家法・不動産登記法等関連法令の把握に努められている。	13/31 達成率 42%
	[2]適切な財務計画と執行・管理	特に経営計画書等はないが、石碑建立のための資金集めは、過去のノウハウを活かし、継続的に運営している状況が確認できる。総会は定期および必要に応じて臨時総会(会員59名)が開催されている。監査は、法人の監事(司法書士)が内部監査を行っている。	
	[3]職員と労働環境	被雇用者がいないため、項目的非該当	
III. 事務局の執行体制と管理	[1]組織・事務局体制の確立	理事長個人が契約している部屋を事務所として登記している。日常的な電話・来所対応はできないが、携帯電話番号を公開し、対応している。必要な手続きは、適宜・適切に行われている。	16/31 達成率 52%
	[2]会計全般	会計管理規定はないが、会計担当理事(銀行員OB)が会計処理を行っている。	
	[3]事業を推進するための体制やルール	研究紀要等すぐに成果の出せないものもあるが、事業計画は着実に実施され、ミッション達成にむけた成果が安定して見受けられる。	
IV. 社会資源の活用	[1]社会資源(企業/行政/市民など)の連携と活用	他のNPO法人と協働での石碑建立の実績が確認できる。石碑建立場所が企業の敷地等の場合もあり、交渉の結果、協働に結びついた事例も確認できる。石碑の建立には、それぞれのテーマ、ケースにより賛同者・寄付者を集めている。	9/16 達成率 56%
V. 情報の公開と社会的信頼	[1]情報の公開	情報の開示は、ホームページ、理事長の個人ブログ等で行われている。	13/18 達成率 72%
	[2]第三者による評価	「京都府地域力再生プロジェクト交付金」を受けた実績がある。毎回石碑除幕式には、ほぼ新聞やメディアで取り上げられている。他多様な情報紙に取り上げられている。	
VI. 組織のリスクマネジメントと社会的責任の追求	[1]組織のリスクマネジメント	重要書類は、事務所内に保管されているが、規定等は策定されていない。これからの事業展開上で想定されるリスクの洗い出し、対応策の検討等が課題として求められる。	1/18 達成率 6%
	[2]組織の社会的責任の追求	特に評価すべき、顕著な活動は見受けられない。	
【相対評価(セルフレビュー)／総括コメント】 当法人は、京都をよく知る研究者が主体となって、石碑の建立、講演会の実施、出版物の刊行等の活動を通じて、京都へ訪れる観光客や地元の方に、地理的な側面からも最新の学術研究を加味した「京都」を知っていただくことを目的としています。 京都は、千年の都であり、街自体が史蹟であるといえますが、観光客は業者が誘引する古来からの観光地を訪れるのみで、すべての京都を体験されたように勘違いしがちです。最新の学術研究などから新しくわかった情報に基づく京都を多くの方に知っていただきたいと考えて活動しています。他に職を持ちながら手弁当で活動を運営しています関係で、常駐のスタッフ等がないこともあり、多くの制約がありますが、歴史を愛好する気心の知れた仲間により和やかに運営しています。 今後は、注目のあたる史蹟だけではなく、開発により失われてゆく恐れのある史蹟などに建碑を行ない、史蹟の保護、保全に寄与できたらと考えています。 石碑建立時において、最も苦勞するのが敷地の確保です。京都の歴史を次の時代に伝えてゆくため、地元の方に、ご理解、ご協力をいただけることを希望いたします。また、現在会員は中高齢の方が多く、若い世代のかたにもっと京都の歴史に関心を持って、活動に参加いただきたいと思います。			68/150 総合達成率 45%
本法人は、京都における歴史の伝承を、歴史的史実の研究と石碑・案内板等の建立という明確なミッションと基幹事業に基づいて、着実に成果と結果を築きあげられ、理事長の熱い思いとその賛同者に支えられて運営されています。石碑は、建立以後長きに渡り社会に影響を及ぼすものであり、法人および組織としての責任を持続的に背負い、継承していく必要が有るといえます。組織的な活動として位置付けていくためには、まだまだ多くの課題があるように見受けられますが、現状における活動の成果や信頼性は多様に担保・確認することができるものと考えられますので、本社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)において認証しました。			